

アーウィクリ[®]注を注射する日付と単位数を記入しましょう。

	注射日	単位数
1回目	月 日 (曜日)	単位
2回目	月 日 (曜日)	単位
3回目	月 日 (曜日)	単位

*アーウィクリ[®]注の投与を開始する際には、1~3回目の単位数を主治医に確認のうえ、あらかじめ記入してください。特に他の基礎インスリン製剤から切り替える場合は、1回目に增量するかどうか確認し、2回目の単位数にも注意してください。

*注射日は毎週同じ曜日にしてください。

アーウィクリ[®]注に関する情報は、
弊社ホームページでも
ご確認いただけます。
二次元コードより
アクセスしてください。



弊社製品に関するお問い合わせ (治療内容に関しましては、主治医にご相談ください)

カスタマーセンター

月曜日から金曜日※
(祝日・会社休日を除く)

0120-180363

WEBお問い合わせフォームはこちら

※お問い合わせいただいた内容を弊社で確認する時間
は平日9~17時(土日祝祭日および弊社休業日を除く)となります。また、回答に2-3営業日を要します
ことをあらかじめご了承ください。



! 旅行や出張などで、日本国外からカスタマーセンターへの
お問い合わせが必要な場合は、右記番号でも受け付けいたします。*

03-4571-1399

※受付時間は弊社ホームページに掲載しております。 [ホームページはこちらから](#) ▶



アーウィクリ[®]注を お使いになる方へ



監修

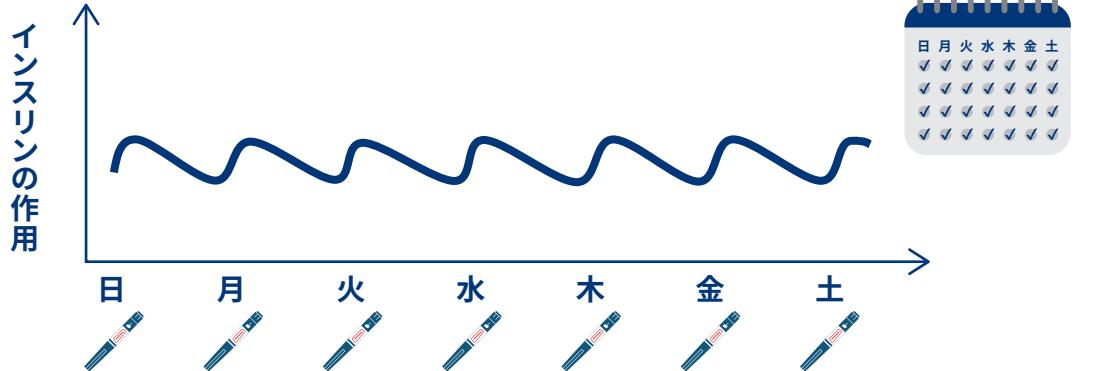
東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科
教授 山内 敏正 先生

アワイクリ[®]注の作用と注射タイミング

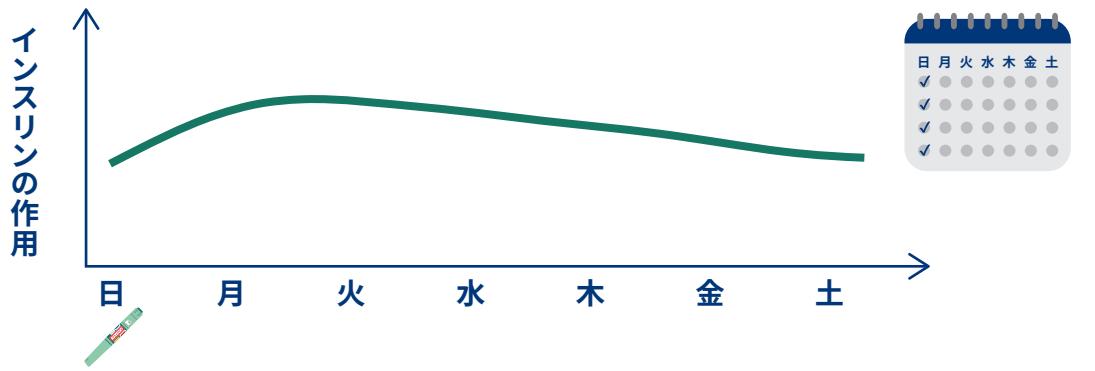
アワイクリ[®]注は週1回投与の基礎インスリン製剤です。

アワイクリ[®]注は、ゆっくりと長期間にわたって作用するため、週1回の投与で持続した効果が期待されます。

これまでの基礎インスリン製剤の作用イメージ



アワイクリ[®]注の作用イメージ



臨床試験では、アワイクリ[®]注を注射してから2~4日後に低血糖が多く認められました。

毎週同じ曜日に皮下注射してください。

※注射する時間は、ずれても構いません。

主治医から伝えられた注射タイミングや用量を守ってください。誤った使い方をすると、高血糖や低血糖になることがあります。



注射を忘れた場合の対処法

注射を忘れた場合は、気づいた時点で直ちに注射してください。その後は4日間以上の間隔をあけてから行い、その後は新たな開始日と同じ曜日に注射してください。

例) 月曜日の注射を忘れた場合

日	月	火	水	木	金	土
1	2 注射忘れ	3	4	5	6 忘れた分を注射	7
8	9	10	11 新たな開始日	12	13	14
15	16	17	18 注射日	19	20	21

その後は新たな開始日と同じ曜日に注射してください。

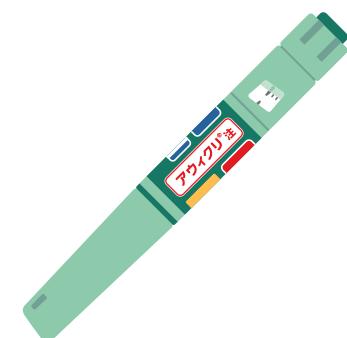
投与する液量

1回あたりに投与する液量について

アウェイクリ[®]注は1週間分のインスリンを1回で注射するため、毎日投与の基礎インスリン製剤よりも高い濃度で作られています。

そのため、1回あたりに投与する液量は毎日投与の基礎インスリン製剤と変わりません。

アウェイクリ[®]注の濃度:
700単位/mL



主な毎日投与の
基礎インスリン製剤の濃度:
100単位/mL



アウェイクリ[®]注の注入器

アウェイクリ[®]注の注入器には、アウェイクリ[®]注専用のフレックスタッチ[®]が使われています。

ラベルにて製剤名と本体の色を確認し、主治医に指示されたお薬であることを確認してください。複数の種類のインスリン製剤を使用している場合は、取り違えないよう注意してください。

アウェイクリ[®]注 フレックスタッチ[®] 総量300単位および700単位はカートリッジの途中までしか薬液が充填されていません。

アウェイクリ[®]注 フレックスタッチ[®]総量300単位



アウェイクリ[®]注 フレックスタッチ[®]総量700単位



アウェイクリ[®]注のフレックスタッチ[®]の
1目盛は10単位です。



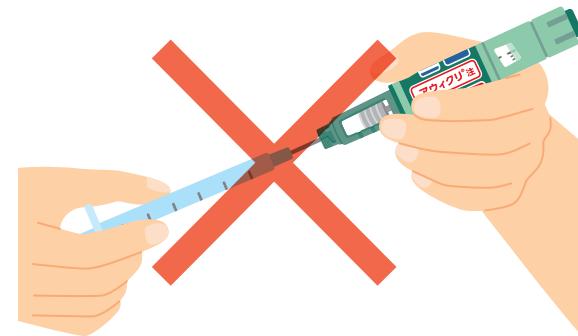
アウェイクリ[®]注を投与する前に、単位合わせダイアルを1クリック(10単位)回して空打ちを行ってください。必ずダイアル表示を確認しながら、単位合わせダイアルを回して単位数を調節してください。ダイアル表示が「0」に戻り、「カチッ」という音がするまで注入ボタンを真上から押してください。「カチッ」という音がしてから6秒以上おいて、針を抜いてください。



アワイクリ[®]注の使用上の注意

カートリッジを取り外して使用したり、シリンジを使ってカートリッジから薬液を抜き取らないでください。

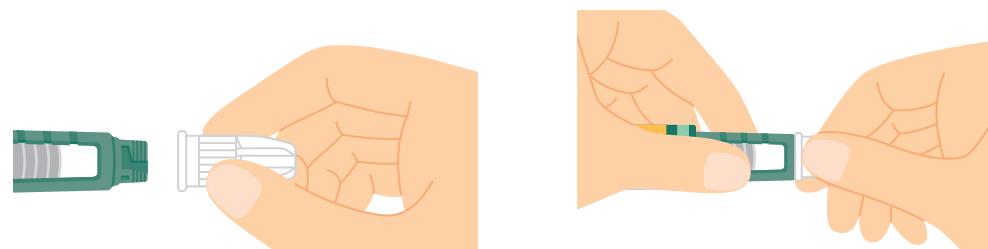
過少投与や過量投与の原因となります。



注射のたびに必ず新しい注射針を使用してください。

注射後は必ず注射針を外し、毎回新しい針を直前に取り付けてください。

同じ注射針を複数回使用すると、液漏れや針詰まりが起こり、正しい単位数を注射できず、また、薬剤の濃度変化や感染症の原因となることがあります。



アワイクリ[®]注の注射単位数

注射する単位数は自己判断せず、必ず主治医の説明に従ってください。

主治医から伝えられた注射タイミングや用量を守ってください。

誤った使い方をすると、高血糖や低血糖になるおそれがあります。

〈血糖値に応じた注射単位数の調節〉



詳しくは主治医にご相談ください。

他の基礎インスリン製剤から切り替える場合の注意点

初回注射の単位数が増量されることがあります。

初回で増量した場合は2回目も増量を続けないように注意してください。

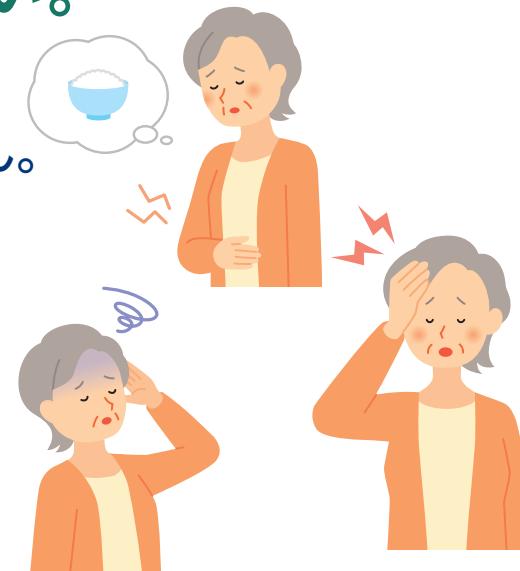


低血糖の症状とその対処法

低血糖について不安がある場合は、主治医にご相談ください。

これらの症状は、低血糖のサインかもしれません。

- 空腹感
- 動悸
- 発汗
- ふるえ
- 倦怠感・疲労感
- 頭痛
- めまい
- 眠気
- 昏睡



低血糖はこのようなときに起こりやすくなります。

食事の量がいつもより少ない

いつもより長く、または激しい運動をした

インスリン注射の量がいつもより多い

インスリンの種類を間違えた

アウェイクリ[®]注は、作用が長く続くため、低血糖症状の回復に時間がかかるおそれがあります。

また、低血糖は症状が回復しても、少し経ってからまた症状がでる場合があるため、しばらく注意して様子を見てください。

低血糖への対処法

すぐにブドウ糖や砂糖を摂取しましょう。

〈量の目安〉

ブドウ糖:5~10g

砂糖:20g

ブドウ糖を含む飲料:150~200mL



低血糖に備えて

ブドウ糖や砂糖を携帯しましょう。

アウェイクリ[®]注の臨床試験では、アウェイクリ[®]注を注射してから2~4日後に低血糖が最も多く認められました。

低血糖に備え、家族や周囲の人にも、低血糖の症状や対処法について、知っておいてもらいましょう。



シックデイの対処法

体調が悪いとき(シックデイ)には、
対処法を主治医に相談してください。

治療中に発熱や下痢、嘔吐などを起こしたり、食事が十分にとれなかったりする状態をシックデイといいます。シックデイの際は、自己判断せずに対処法を主治医に相談してください。

〈対処法の例〉

水分を補給

脱水症状を起こしやすくなるので1日に少なくとも1リットル以上の水分をとる。



食事をとる

何も食べない状態は避ける。少ししか食べられないときは、こまめにとる。冷たい牛乳や炭酸飲料はひかえる。



血糖値を測定

こまめに自己測定する。



インスリン注射は継続する



1型糖尿病を持つ方への注意

アウェイクリ[®]注での治療中は
血糖値の変動にご注意ください。

1型糖尿病では、ライフスタイルの変化によって血糖値が変動しやすいため、十分注意してください。必要に応じて、血糖自己測定(SMBG)や持続グルコースモニタリング(CGM)などで、血糖値がどのように変動しているか確認することが推奨されます。



主治医にご相談ください。

- ・アウェイクリ[®]注の用量調整をする場合
 - ・毎日投与のインスリン製剤へ変更する場合
アウェイクリ[®]注による治療で適切な血糖管理が困難な場合には、毎日投与のインスリン製剤への変更が必要になることがあります。
- 変更の際は自己判断せず、必ず主治医から伝えられたタイミングや投与量で変更してください。